

## 令和6年度（2024年度）事業報告 総括

当法人は、2040年に向けた人口構造の変化や医療・福祉財政の不透明さといった社会的課題を見据えた「全世代が支え合う地域共生社会」の実現を目指し、令和6年度も積極的に取り組んでまいりました。

とりわけ、「全世代型対応支援」を核とするビジョンの実現に向け、地域で発生する多様な生活課題に対し、住民一人ひとりが「我が事」として関われる仕組みづくりを推進しております。

### 1. 全世代型対応支援の推進と複合型拠点の成長

令和3年度に開設した複合型サービス事業所は、4年目を迎え、地域における「全世代型対応支援」の中核として、着実に成長を遂げています。

高齢者、障がい者、子ども・子育て世帯など、多様なニーズを持つ住民が、身近な場所で相談や支援を受けられる拠点として機能しており、利用者数の増加とともに、地域住民との信頼関係も深まってきました。

### 2. 在宅支援体制の確立と今後の展望

「柔軟で機動的な日常生活サポート体制」や、「予防から最期までを支える在宅支援の仕組み」については、関係機関との連携強化や専門職の充実により、着実に整備・確立されました。これにより、地域での生活継続を望む多くの方々に対し、切れ目のない支援提供が可能となっております。

今後は、地域の皆様に対して「自助（自分で支える力）」および「互助（地域で支え合う仕組み）」をサポートする取り組みを強化し、地域住民の主体的な参画を促すことで、「地域まるごとケア」の視点に立った支援体制の構築を進めてまいります。

### 3. 職員の働きやすさ・働きがいの促進

法人にとって重要な資源である職員の「働きやすさ」と「働きがい」の両立に向けて、職場環境の整備や研修制度の充実を図ってまいりました。その結果、職員の定着率向上やモチベーションの維持・向上が見られ、一人ひとりの潜在能力を発揮しやすい職場づくりが着実に進んでいます。今後も、職員が誇りを持って働ける環境を提供し続けるとともに、多様な人材が活躍できる組織体制の強化に努めてまいります。

#### 結びに

本年度の取り組みを通じて、当法人は地域社会とともに確かな歩みを進めてまいりました。今後も変化する社会情勢に柔軟に対応しながら、地域に必要とされる社会福祉法人として、持続可能な未来の創造に貢献してまいります。

社会福祉法人ひだまり

理事長 永田 かおり